

家庭「家庭総合」1年目 単元の評価規準

内容のまとめり	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A 「人の一生と家族・家庭及び福祉」	第1章 生活のマネジメント	○人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 ○自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解している。 ○生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解しているとともに、情報の収集・整理ができる。	○生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察したことに基づき、生活資源を活用して生活設計を工夫することができる。	○様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	第2章 青年期の課題と自立	○生涯発達の見点から各ライフステージの特徴と課題について理解しているとともに、青年期の課題である自立や男女の平等と協力、意思決定の重要性について理解している。	○よりよい生活を想像するために、青年期の課題である自立や男女の平等と協力、意思決定の重要性について考察している。	○様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	第3章 家族・家庭生活のマネジメント	○家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律、家庭生活と福祉などについて理解するとともに、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わり、家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解している。	○家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任を持って行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察している。	○様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント	○乳幼児の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について理解しているとともに、子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けている。 ○子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解している。	○子供を産み育てることの意義や保育の重要性について考えられているとともに、子供の健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察するとともに、子供との適切な関わり方を工夫することができる。	○様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供との関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
B 「活の科学」と衣食住の生活文化	第10章 衣生活のマネジメント	○衣生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解している。 ○ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解しているとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 ○被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解しているとともに、衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。	○主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装や日本の衣文化の継承・創造について考察するとともに、工夫することができる。	○様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
C 「持続可能な消費生活・環境」	第8章 経済生活のマネジメント	○家計の構造について理解するとともに生活における経済と社会との関わりについて理解している。 ○生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方について理解しているとともに、情報の収集・整理ができる。 ○消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性について理解しているとともに、生活情報の収集・整理ができる。 ○消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費者問題や消費者の自立と支援などについて理解しているとともに、契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解している。	○生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージごとの課題や社会保障制度などに関連付けて考察するとともに、工夫することができる。 ○自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することができるよう考察するとともに、責任ある消費について工夫することができる。	○様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	第7章 持続可能な社会をつくる	○生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解しているとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。	○持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費及び生活文化について、多面的・多角的に考察することができるとともに、ライフスタイルを工夫することができる。	○様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	最終章 生活をデザインする	○ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。	○自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決策を構想し、計画的に実践した上で、評価・改善し、考察に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の向上を図るために実践しようとしている。